

統計では計り知れないこと

四国経済連合会参与（独産業技術総合研究所四国センター所長）

三木 啓司



新鮮な魚介類、野菜、果物や海、山、川の美しい自然など四国の魅力は尽きませんが、人々の健康については大きな課題を抱えているようです。徳島県の糖尿病死亡率、愛媛県の心疾患死亡率に加えて、患者調査によれば徳島県の高血圧性心疾患、香川県の糖尿病、高知県の脳血管疾患の受療率が全国1位で、特に香川県の働き盛り（15-64歳）の男性の糖尿病推定患者数が最多（徳島県が2位）であることは深刻です。また、脳血管疾患の受療率は、働き盛りの男性では愛媛、高知の2県が、女性では徳島、愛媛、高知の3県が上位5位以内にありまます。内臓脂肪の蓄積（肥満）に端を発するインスリン抵抗性が、高血圧、高脂血、そして糖尿病などの動脈硬化危険因子を蓄積させて、やがて心疾患や脳血管障害などが発症、死亡または重度の後遺障害を残すことを思えば、そもそもの原因である生活習慣、例えば香川県の男性の野菜摂取量が全国最低（女性も2番目に少ない）、高知県の発泡酒消費量1位（酒類消費量2位）、高知県と香川県の男性の運動量（歩行数）は下位から3位以内などは深慮を要します。

メタボリックシンドロームとともに、過剰なストレスが生活を乱し、過食、過度の飲酒、

喫煙に向かわせるとともに循環器系疾患の引き金となることや、精神的ストレスがインスリンの働きを弱め、糖尿病の血糖コントロールを悪化させることなどが指摘されています。徳島県は年間収入の世帯別ジニ係数（平成16年）、世帯の冠婚葬祭費等の諸経費支出額、神経症性障害・ストレス関連障害患者受療率、被保険者あたりの国民健康保険診療費が1位、香川県は65歳以上人口あたりの老人ホーム数、人口あたりの交通事故発生件数、愛媛県は介護・看護時間、高知県は被保険者あたりの雇用保険受給率、高卒就職者あたりの県外就職者の割合が1位です。

最近の著書「格差社会の衝撃」では、健康に対するストレスの影響が顕在化した要因のひとつに、経済的発展にともなう個人主義の進展、および地理的移動による友人、家族やコミュニティからの孤立、また不安定な社会的地位や他人の目を気遣う社会的不安の増加をあげています。生活の質を改善するためには、この社会関係の質を改善することがまず重要であり、現在の市場メカニズムの中においてもいくつもの解決策があるとの主張です。四国がめざすイノベーションの方向を示唆していると思うのですがいかがでしょうか。